2025年11月期 第２四半期
決算説明会

株式会社ラクト・ジャパン

2025年7月18日

INDEX

01 2025年11月期 中間期業績および通期業績予想

02 2025年11月期 事業の概況

03 乳原料・チーズ部門の利益拡大に向けた取組み

© Lacto Japan Co., Ltd.

01 2025年11月期 中間期業績および 通期業績予想

© Lacto Japan Co., Ltd.

2025年11月期 中間期 連結業績概要

- **中間連結会計期間の業績としては、売上高、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに、過去最高を更新。全部門で前年同期の売上を上回り好調な業績進捗。一過性の収益（営業外）を除いても経常利益は過去最高益。**

（単位：百万円）	2024.11期 中間期	期初予想	2025.11期 中間期 実績	前期比（%）	期初予想比（%）
売上高	84,560	86,000	95,293	+12.7	+10.8
経常利益	2,260	2,300	3,832	+69.5	+66.7
経常利益率（%）	2.7	2.7	4.0	–	–
経常利益に含まれる為替影響額※	(△24)	–	(78)	–	–
為替影響額修正後経常利益	(2,285)	–	(3,754)	(+64.2)	–
親会社株主に帰属する中間純利益	1,654	1,700	2,797	+69.1	+64.5
中間純利益率（%）	2.0	2.0	2.9	–	–
１株当たり中間純利益(円)	165.97	170.71	280.78		
為替レート(円/USD)	149.95	–	150.14		
為替レート(円/EUR)	162.47	–	161.27		

（注）財務数値の表示は端数切捨て、増減率は四捨五入しております。
※経常利益に含まれる為替影響額：当社は外貨為替会計処理基準における原則法を採用しているため、為替ヘッジの影響が売上原価と営業外損益の両方に計上されます。
そのため売上原価と営業外損益両方に対する為替ヘッジの影響額を記載しております。

主な増減ポイント

❶売上高：過去最高を更新

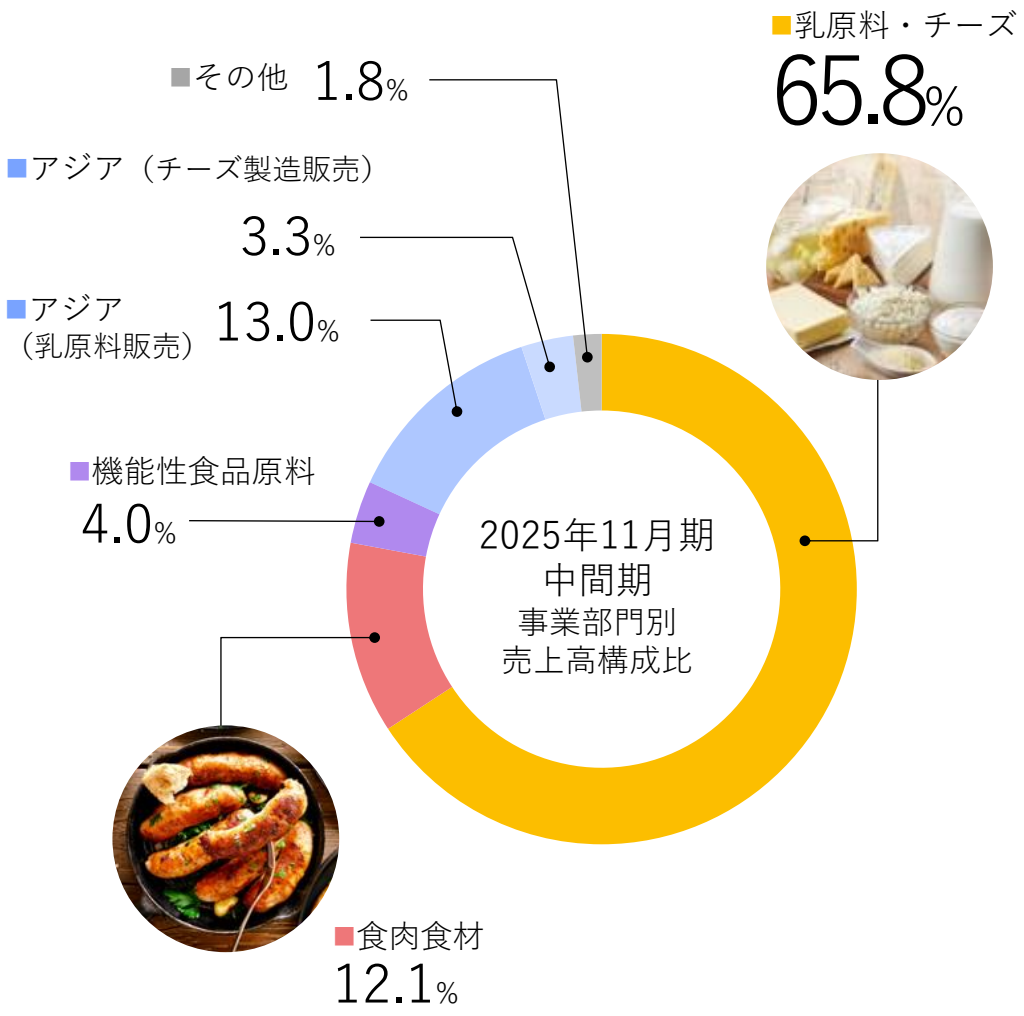
- 全ての事業部門で前期実績および期初計画を上回り連結ベースで二桁増収

❷経常利益：過去最高を更新

- 国内の乳原料・チーズ部門、およびアジア・チーズ製造販売部門で利益率改善
- 前期発生した一部商品の品質不良に関わる補償金を営業外収益として計上

© Lacto Japan Co., Ltd.

2025年11月期 中間期 事業部門別売上高および販売数量（前期比）



乳原料・チーズ部門

売 上 高	62,686百万円	前期比	6.4%増
販売数量	86,799トン	前期比	4.7%減

食肉食材部門

売 上 高	11,560百万円	前期比	9.7%増
販売数量	16,180トン	前期比	2.1%増

機能性食品原料部門

売 上 高	3,779百万円	前期比	134.9%増
販売数量	3,044トン	前期比	140.1%増

アジア事業（乳原料販売部門）

売 上 高	12,418百万円	前期比	27.6%増
販売数量	20,678トン	前期比	11.7%増

アジア事業（チーズ製造販売部門）

売 上 高	3,142百万円	前期比	17.3%増
販売数量	2,826トン	前期比	11.4%増

その他

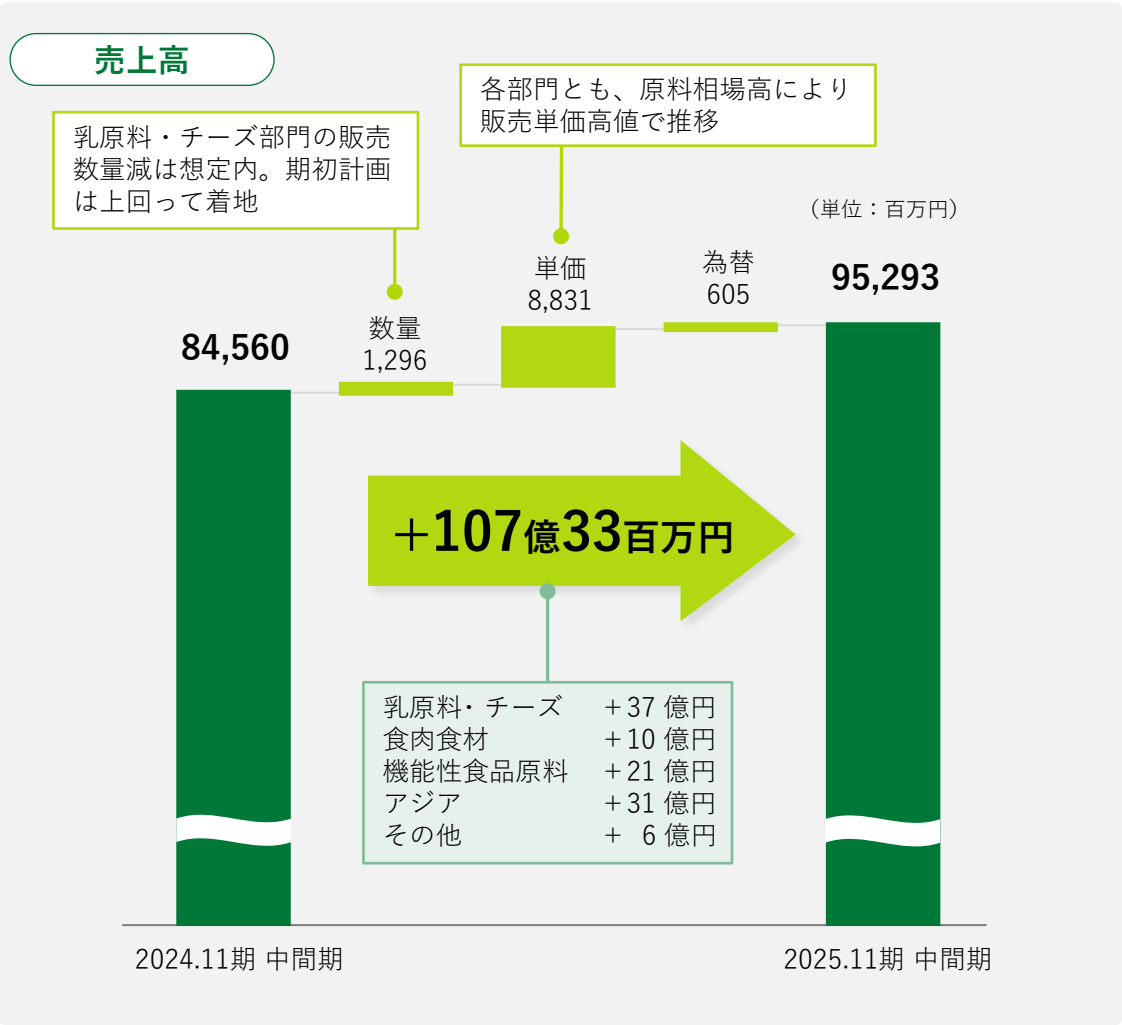
売 上 高	1,706百万円	前期比	59.6%増

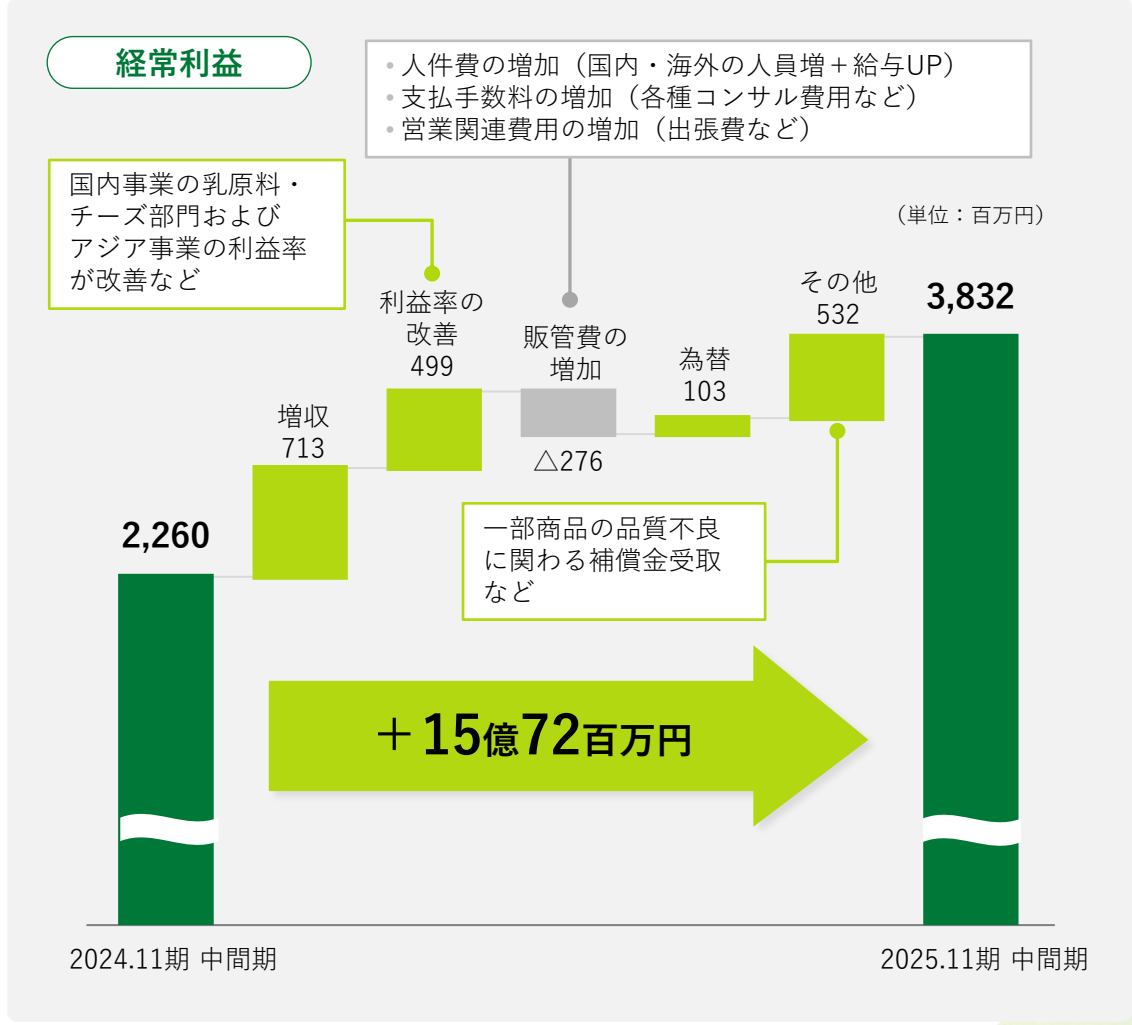
（注）売上高、販売数量ともに数値の表示は端数切捨て。増減率は四捨五入しております。

© Lacto Japan Co., Ltd.

売上高および経常利益の増減要因（前期比）

- **売上高：販売数量は乳原料・チーズ部門以外は前期実績を上回り増加。原料相場高により販売単価は高値で推移し増収**
- **経常利益：増収効果に加えて、乳原料・チーズ部門とアジア・チーズ製造販売部門の利益率改善が増益に寄与**





（注）売上高・経常利益の増減の内訳： 単位以下の端数は四捨五入

© Lacto Japan Co., Ltd.

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2024.11月末	2025.5月末	増減額	
流動資産合計	**75,826**	**86,900**	**11,073**	
現金及び預金	9,076	10,359	1,282	
受取手形及び売掛金	24,028	28,523	4,494	POINT ❶
棚卸資産	42,119	46,528	4,408	POINT ❷
流動資産その他	601	1,489	888	
固定資産合計	**5,608**	**6,001**	**392**	
有形固定資産	2,502	2,554	52	
無形固定資産	321	728	407	
投資その他の資産	2,785	2,717	△67	
資産合計	**81,435**	**92,901**	**11,466**	
買掛金	17,212	16,766	△445	
有利子負債	33,435	43,669	10,234	POINT ❸
負債その他	3,206	3,040	△166	
負債合計	**53,853**	**63,475**	**9,621**	
純資産合計	**27,581**	**29,426**	**1,845**	
負債純資産合計	**81,435**	**92,901**	**11,466**	

（財務数値の表示は端数切捨て、内訳は主要項目のみ記載）

（注）当社の棚卸資産は原則、販売に紐づいており、当社は自社で在庫を抱えるリスクは負っておりません。

主な増減ポイント

受取手形及び売掛金／棚卸資産の増加

❶ ❷国内の乳原料販売および機能性食品原料販売、食肉販売の売上・契約数量の増加

有利子負債の増加

❸運転資金の増加に伴う借入金の増加

© Lacto Japan Co., Ltd.

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2025.11期 中間期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,846	POINT ❶
投資活動によるキャッシュ・フロー	△546	POINT ❷
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,718	POINT ❸
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68	
現金及び現金同等物の増減額	1,256	
現金及び現金同等物の期首残高	8,520	
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,776	

（財務数値の表示は端数切捨て、内訳は主要項目のみ記載）

主な増減ポイント

営業CF

❶取引増加に伴う運転資本（売上債権・棚卸資産）の増加

投資CF

❷アジア新工場の建設関連投資、基幹システムの入替えに関連した投資など

財務CF

❸運転資金の増加に伴う借入金の増加

© Lacto Japan Co., Ltd.

2025年11月期 通期連結業績予想の修正

- **中間連結会計期間の業績進捗および足元の受注動向を勘案し、7月9日に通期業績予想と期末配当予想を上方修正。通期も過去最高益を目指す。**

（単位：百万円）		2024.11期 実績	2025.11期 期初予想	2025.11期 修正予想	2025.11期 前期比増	2025.11期 前期比（%）
売上高		170,907	180,000	**188,000**	+17,092	+10.0
経常利益		4,320	4,600	**6,000**	+1,679	+38.9
経常利益率（%）		2.5	2.6	**3.2**	–	–
親会社株主に帰属する当期純利益		3,146	3,300	**4,350**	+1,203	+38.3
当期純利益率（%）		1.8	1.8	**2.3**	–	–
1株当たり当期純利益（円）		315.83	331.38	**436.47**	+120.64	
1株当たり配当金（円）	年額	80.00	100.00	**132.00**	+52.00	
	中間	31.00	50.00	**50.00**	+19.00	
	期末	49.00	50.00	**82.00**	+33.00	

（注）財務数値の表示は端数切捨て、増減率は四捨五入しております。

業績予想の前提

❶機能性食品原料およびアジア・チーズは引き続き堅調な業績推移を想定。

乳原料・チーズでは、最終製品の値上げの継続により販売数量の伸びは鈍化を想定。ただし、利益面では高付加価値商品の販売増により前期比で増益を見込む。

❷乳製品原料、食肉関連原料ともに原料相場は高止まりを想定。

❸業績予想の修正に伴い期末配当予想も上方修正。

© Lacto Japan Co., Ltd.

「NEXT-LJ 2025」の進捗

- 上期の業績進捗および足元の受注動向などを総合的に勘案し、通期業績予想を上方修正
- 増益を見込み併せて配当も見直し。期初予想より32円増配し、配当性向は期初計画の30%超を維持する予定

	2023.11期（実績）	2024.11期（実績）	2025.11期（予想）7/9修正値	中期経営計画「NEXT△LJ 2025」		
				2023.11期（計画）	2024.11期（計画）	2025.11期（計画）
連結売上高	1,583億円	1,709億円	1,880億円	1,600億円	1,800億円	2,000億円
連結経常利益	28.5億円	43.2億円	60億円	32億円	36億円	40億円
親会社株主に帰属する当期純利益	20.4億円	31.4億円	43.5億円	23億円	26億円	29億円

	2023.11期（実績）	2024.11期（実績）	2025.11期（計画）7/9修正値	2025.11期（計画）中期計画目標
ROE	8.7%	12.1%	–	10%以上
1株当たり配当金（中間／期末）	48円（24円／24円）	80円（31円／49円）	132円（50円／82円）	–
配当性向	23.2%	25.3%	30.2%	20～25%
連結自己資本比率	34.2%	33.8%	–	30～35%

© Lacto Japan Co., Ltd.

部門別売上高

- **通期業績予想の修正とともに、前提となる各部門の売上高・販売数量の予想値も修正**

（単位：百万円）

	2024.11期				2025.11期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	通期予想
乳原料・チーズ	**28,124**	**30,807**	**28,577**	**26,672**	**30,653**	**32,032**	**120,700**
前年同期比	1.9%	5.5%	8.4%	△7.0%	9.0%	4.0%	5.7%
食肉食材	**5,111**	**5,427**	**5,801**	**5,447**	**5,024**	**6,535**	**25,200**
前年同期比	25.8%	10.0%	31.3%	12.2%	△1.7%	20.4%	15.7%
機能性食品原料	**744**	**863**	**1,408**	**2,124**	**1,744**	**2,035**	**8,100**
前年同期比	19.1%	△10.1%	23.3%	78.8%	134.1%	135.6%	57.5%
アジア（乳原料販売）	**4,207**	**5,523**	**5,727**	**6,125**	**6,064**	**6,353**	**24,000**
前年同期比	△19.8%	3.9%	62.1%	27.0%	44.1%	15.0%	11.2%
アジア（チーズ製造販売）	**1,264**	**1,414**	**1,460**	**1,454**	**1,639**	**1,503**	**6,500**
前年同期比	16.3%	22.0%	19.0%	7.3%	29.6%	6.3%	16.2%
その他	**267**	**801**	**642**	**905**	**858**	**847**	**3,600**
前年同期比	111.9%	481.1%	233.9%	923.5%	221.4%	5.7%	37.6%
売上高合計	**39,720**	**44,839**	**43,618**	**42,729**	**45,984**	**49,308**	**188,000**
前年同期比	2.5%	7.5%	18.3%	4.2%	15.8%	10.0%	10.0%

（数値の表示は端数切捨て）

（注）2025.11期 通期予想の売上高合計には、連結調整額△100百万円が含まれています。また、通期予想は修正値です。

© Lacto Japan Co., Ltd.

部門別販売数量

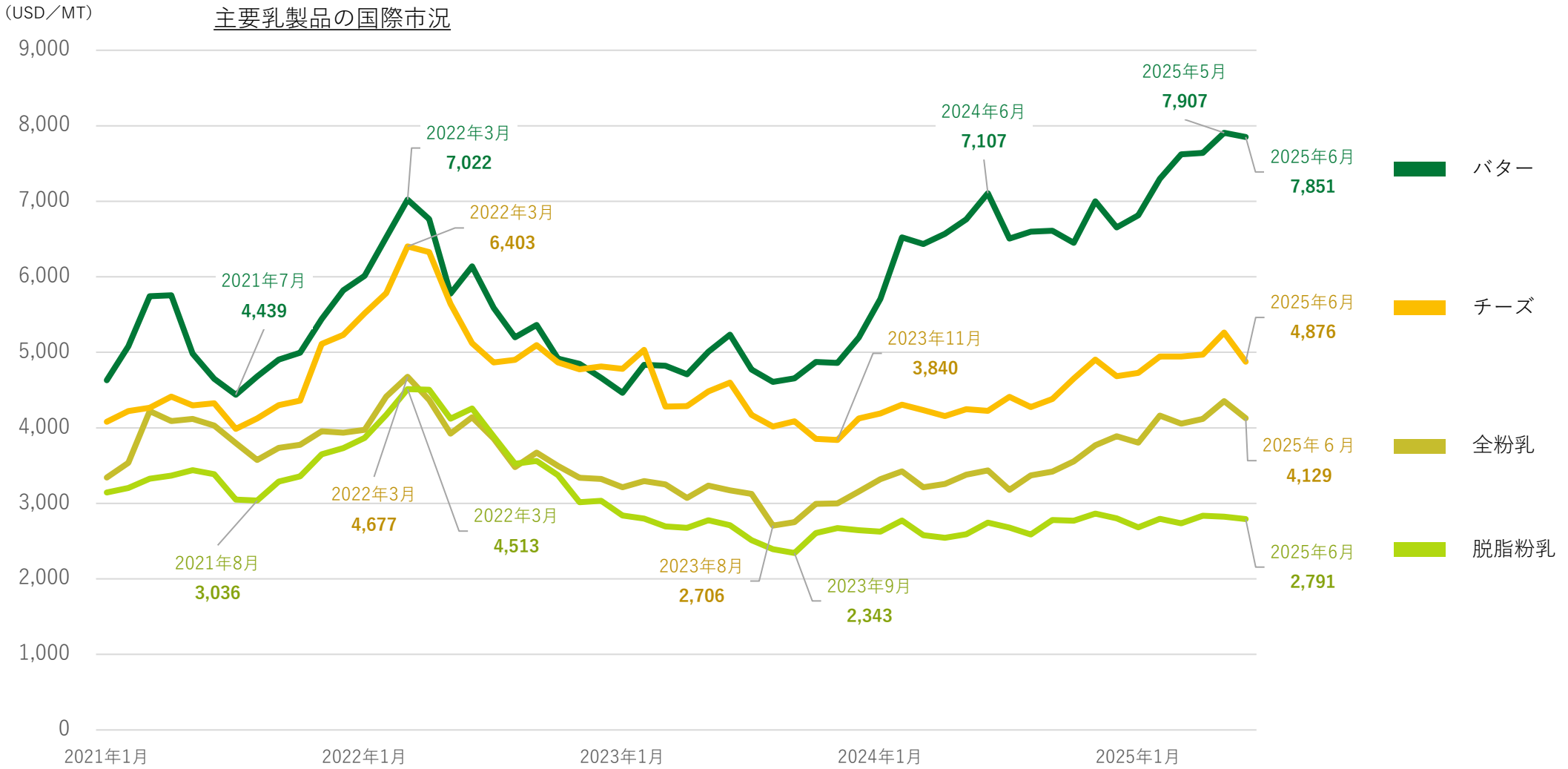
（単位：トン）

	2024.11期				2025.11期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	通期予想
乳原料・チーズ	**45,583**	**45,515**	**43,043**	**42,259**	**43,972**	**42,827**	**166,800**
前年同期比	12.3%	1.7%	9.1%	△0.9%	△3.5%	△5.9%	△5.4%
食肉食材	**7,766**	**8,076**	**8,302**	**7,685**	**6,993**	**9,187**	**35,100**
前年同期比	29.3%	2.6%	19.3%	5.4%	△10.0%	13.8%	10.3%
機能性食品原料	**584**	**683**	**1,170**	**1,761**	**1,293**	**1,750**	**6,600**
前年同期比	42.7%	△5.4%	58.9%	87.7%	121.4%	156.1%	57.2%
アジア（乳原料販売）	**8,286**	**10,232**	**10,352**	**10,857**	**9,830**	**10,848**	**39,600**
前年同期比	△20.1%	△4.5%	62.0%	11.1%	18.6%	6.0%	△0.3%
アジア（チーズ製造販売）	**1,228**	**1,307**	**1,353**	**1,532**	**1,444**	**1,382**	**5,900**
前年同期比	6.4%	7.6%	15.5%	19.2%	17.5%	5.7%	8.8%

（数値の表示は端数切捨て）
（注）通期予想は修正値です。

© Lacto Japan Co., Ltd.

● 乳製品の国際市況は全体的に高値で推移



（出典） Global Dairy Trade より
（注） チーズ：チェダーチーズ

© Lacto Japan Co., Ltd.

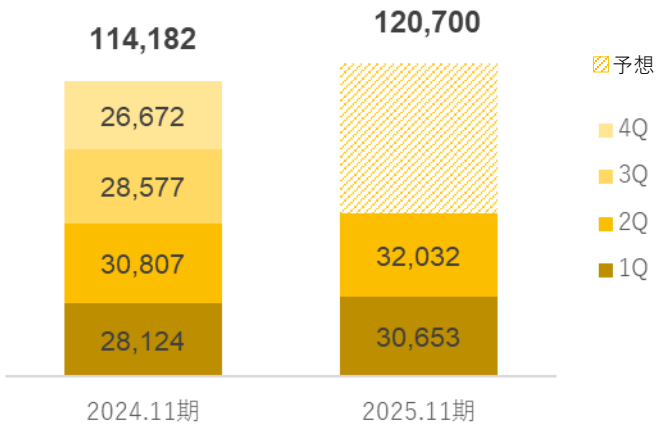
02 2025年11月期　事業の概況

© Lacto Japan Co., Ltd.

乳原料・チーズ部門

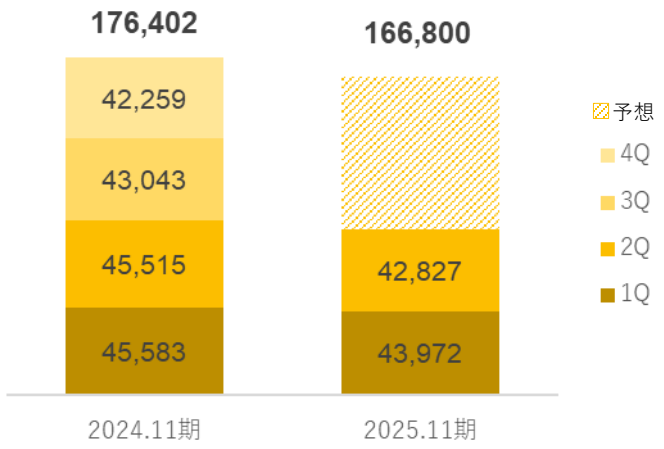
売上高

（単位：百万円）



販売数量

（単位：トン）



（注）売上高、販売数量ともに数値の表示は、小数点以下切捨て。

上期の事業概況

- 乳製品相場は世界的に高値で推移
- 拡大市場への販売を強化（付加価値の高い脂肪系乳原料、高たんぱく原料の販売が増加。）
- 高付加価値商品の販売増が収益アップに貢献
- 顧客ニーズに合った仕入れを行い、チーズ販売シェア拡大

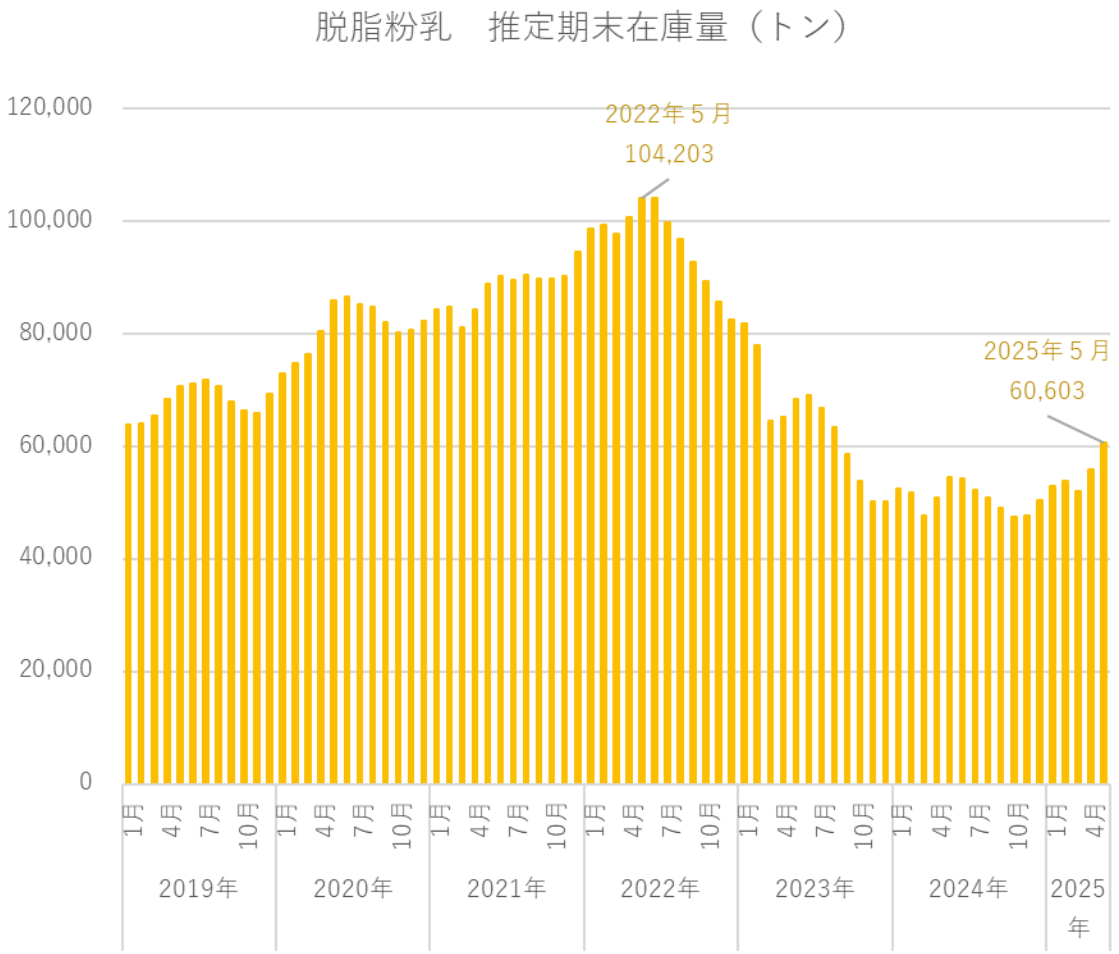
下期の見通し

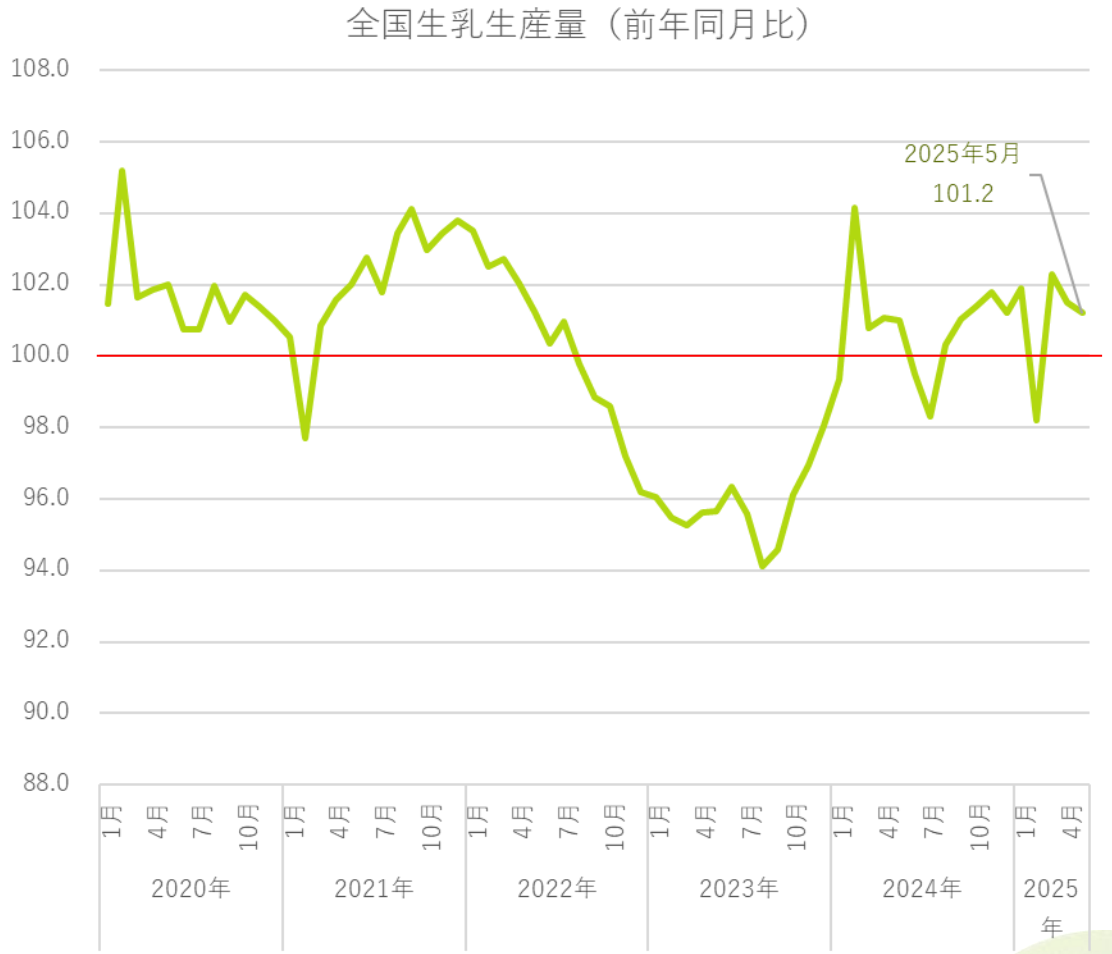
- 乳製品相場は高値圏での推移が継続する見込み
- 乳価値上げなどによる消費への影響を注視
- 猛暑・離農による生乳生産量への影響

© Lacto Japan Co., Ltd.

国内乳業界の事業環境

- 足元の生乳生産量の増加により、脱脂粉乳在庫は5月には6万トンに
- 8月に予定されている飲用乳価の値上げは乳製品の消費を冷やす可能性もあり動向は注視





（出典）牛乳乳製品統計調査（農林水産省）より作成

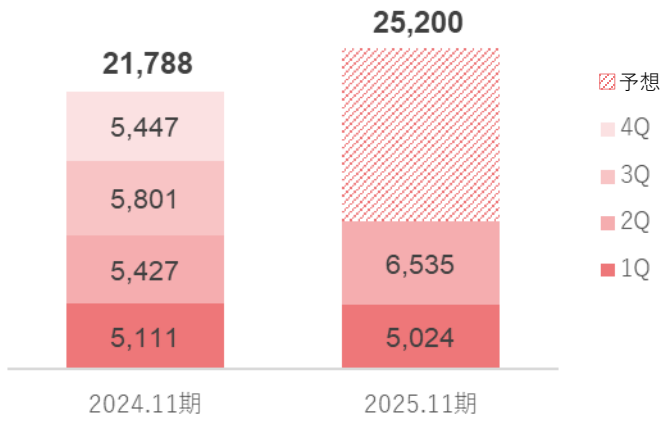
© Lacto Japan Co., Ltd.

部門別の概況

食肉食材部門

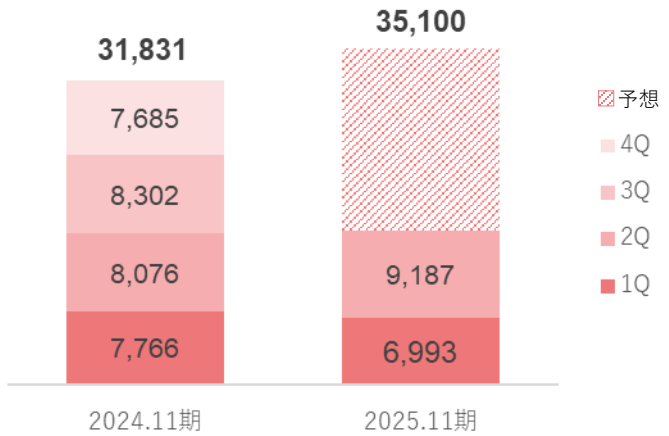
売上高

（単位：百万円）



販売数量

（単位：トン）



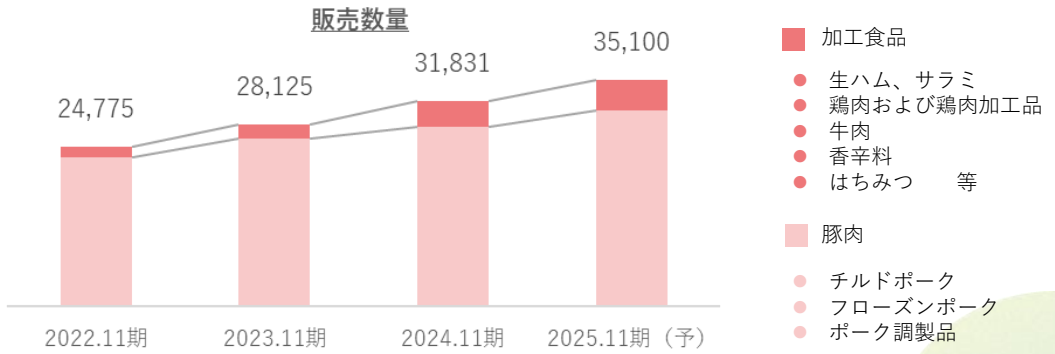
（注）売上高、販売数量ともに数値の表示は、小数点以下切捨て。

上期の事業概況

- 前期実績および期初計画を上回る販売実績
- 第２四半期には状況が改善し、北米産豚肉の販売が回復
- 鶏肉加工品の販売が好調に推移

下期の見通し

- 引き続き、加工食品の販売を強化
- フローズンポークの販売強化
- 4月より取扱いを開始した香辛料と既存商売のシナジー効果に期待

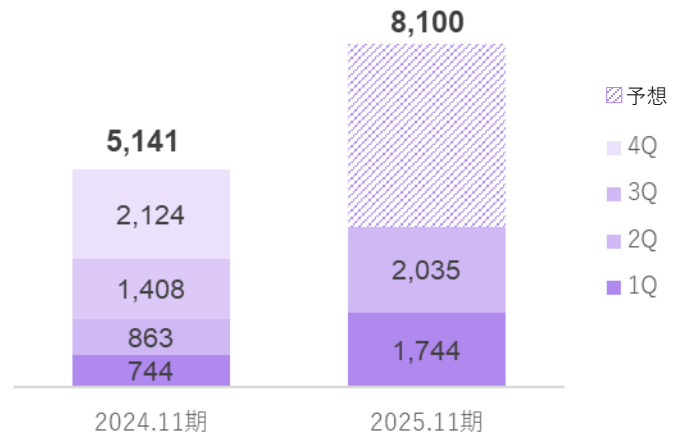


© Lacto Japan Co., Ltd.

機能性食品原料部門

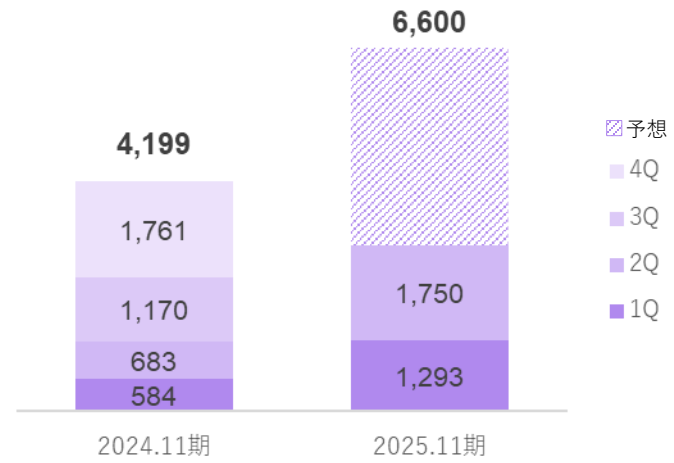
売上高

（単位：百万円）



販売数量

（単位：トン）



（注）売上高、販売数量ともに数値の表示は、小数点以下切捨て。

上期の事業概況

- 世界的な高たんぱく需要を背景に原料相場は高値で推移
- 引き続き、国内プロテイン需要は高く販売は好調を維持
- 総合的な製品設計提案などにより新規取引が拡大

下期の見通し

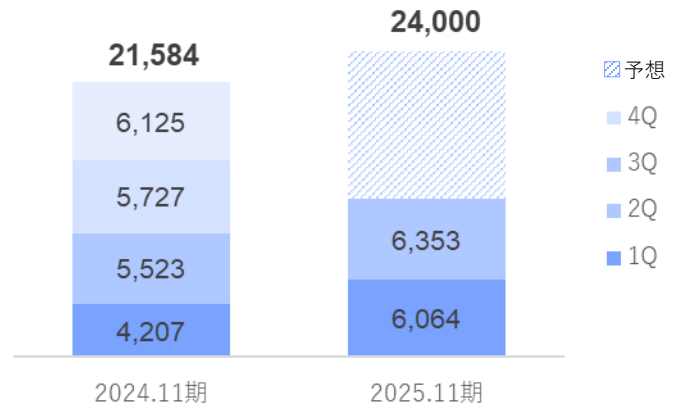
- プロテイン原料以外の機能性原料の販売を強化
- 高たんぱく原料は、既存用途向け以外の拡販を目指し、食品メーカーへの提案強化

© Lacto Japan Co., Ltd.

アジア・乳原料販売部門

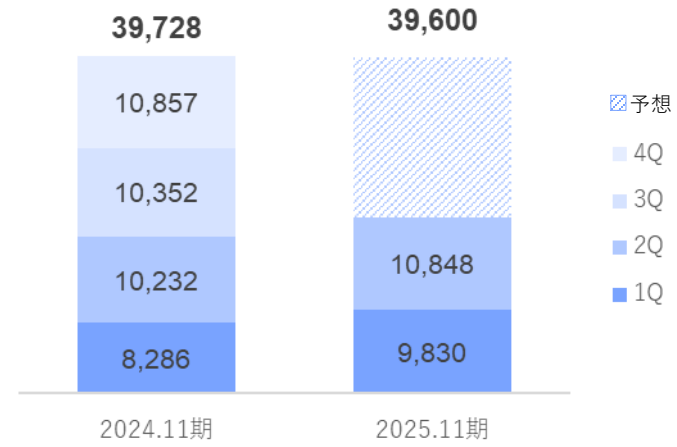
売上高

（単位：百万円）



販売数量

（単位：トン）



（注）売上高、販売数量ともに数値の表示は、小数点以下切捨て。

上期の事業概況

- フィリピン・タイ・マレーシア現地企業向け商売増
- インドネシアにおいて新規サプライヤーとの取引増加
- 日系企業向け高付加価値商売の増加

下期の見通し

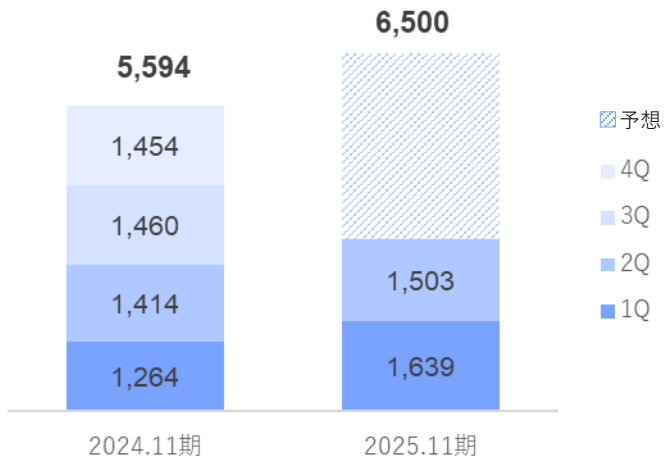
- さらなる取引拡大を目指し、海外拠点間の連携を強化
- 引き続き、現地企業向け営業強化
- 日本国内向け粉乳調製品の需給動向に注視

© Lacto Japan Co., Ltd.

アジア・チーズ製造販売部門

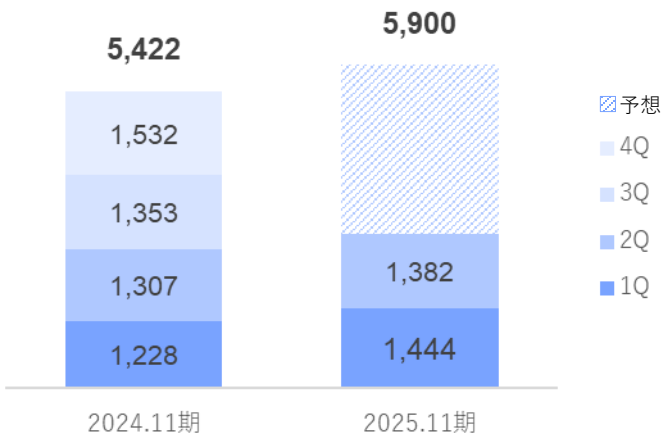
売上高

（単位：百万円）



販売数量

（単位：トン）



（注）売上高、販売数量ともに数値の表示は、小数点以下切捨て。

上期の事業概況

- 顧客ニーズに合った高付加価値製品を開発し、販売数量増加
- 主にベーカリー・加工食品・外食産業向け商売が増加
- 原料コスト等を反映した価格改定を実施。利益率改善に寄与

下期の見通し

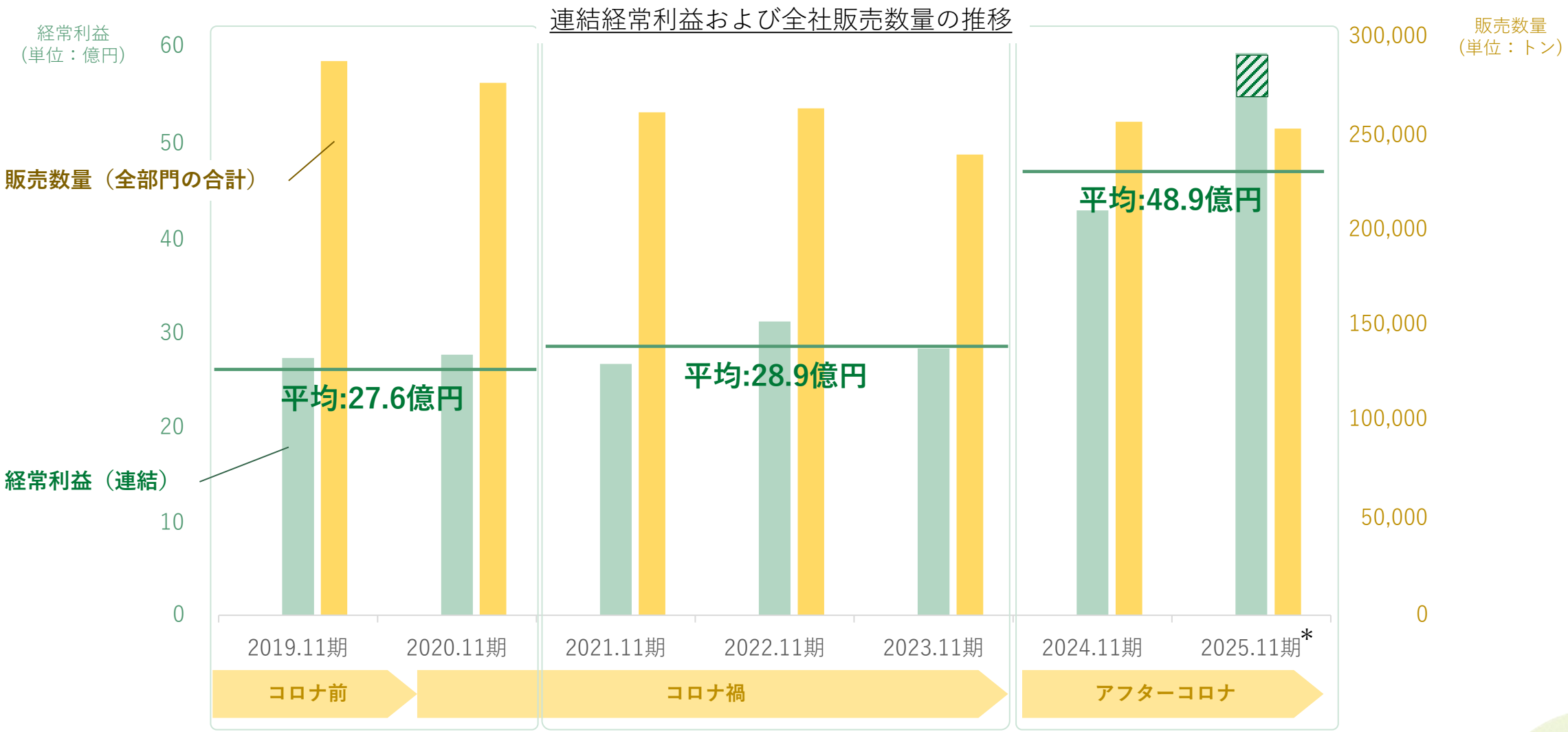
- 現地競合他社品との差別化を図り、さらなる拡販を目指す
- 収益性を重視した販売戦略
- シンガポール新工場は、2026年11月期に稼働開始予定

© Lacto Japan Co., Ltd.

03 乳原料・チーズ部門の利益拡大に向けた取組み

© Lacto Japan Co., Ltd.

● 全社の販売数量が伸び悩むなか、連結経常利益の水準が向上



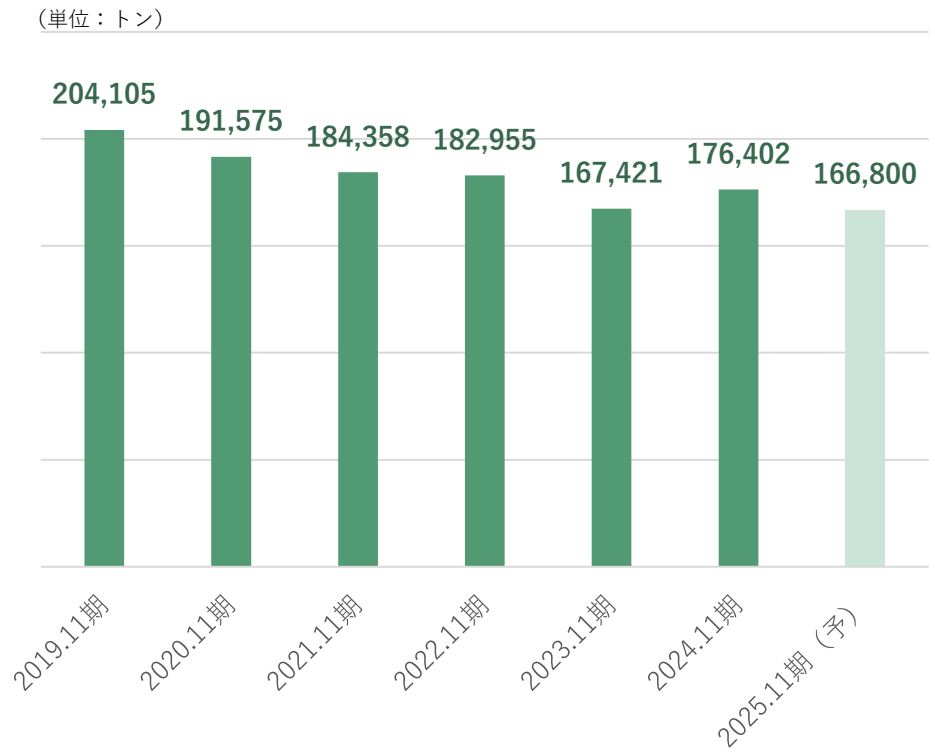
（注） 1．2025.11期は上期実績と下期予想を合計した数値
2． ▨ は営業外収益

© Lacto Japan Co., Ltd.

乳原料・チーズ部門の業績推移

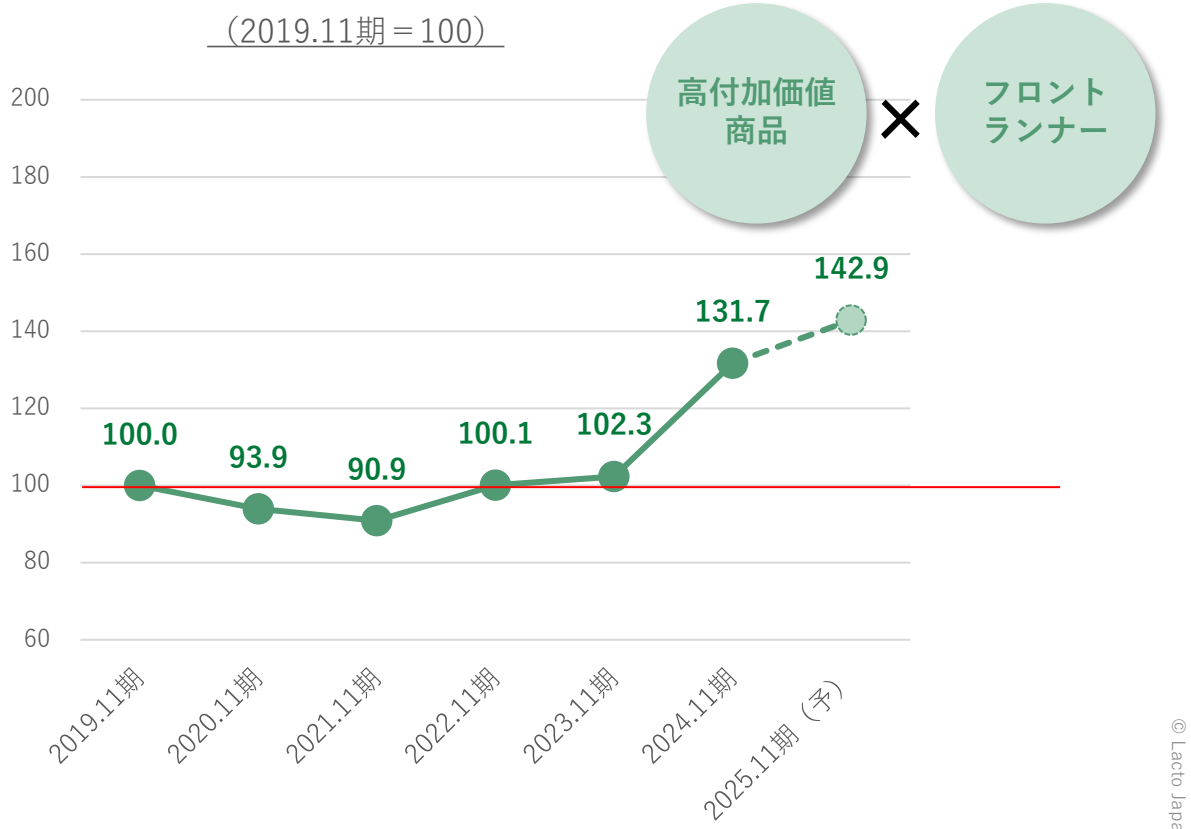
- 乳原料・チーズ部門の販売数量はコロナ前の水準までは戻っていないものの、部門利益はコロナ禍後、大幅に増加
- 「高付加価値商品」の提案力と「フロントランナー」としての調達力・供給力が収益改善の背景

乳原料・チーズ部門　販売数量



コロナ前 | コロナ禍 | アフターコロナ

乳原料・チーズ部門　部門利益
（2019.11期＝100）



コロナ前 | コロナ禍 | アフターコロナ

（注）部門利益は参考値（社内の管理会計上の利益で経費考慮前の利益額

© Lacto Japan Co., Ltd.

乳原料・チーズ部門の利益拡大の背景

高付加価値
商品

×

フロント
ランナー

多くは日本国内では製造されていない乳原料

（ホエイたんぱくやカゼインたんぱく等を
特殊加工した原料など）

新しい原料を誰よりも早く提案・販売

高付加価値製品の供給が可能なサプライヤーの確保

ユーザーの開発部門との対話・提案力

© Lacto Japan Co., Ltd.

高付加価値商品は輸入品が中心

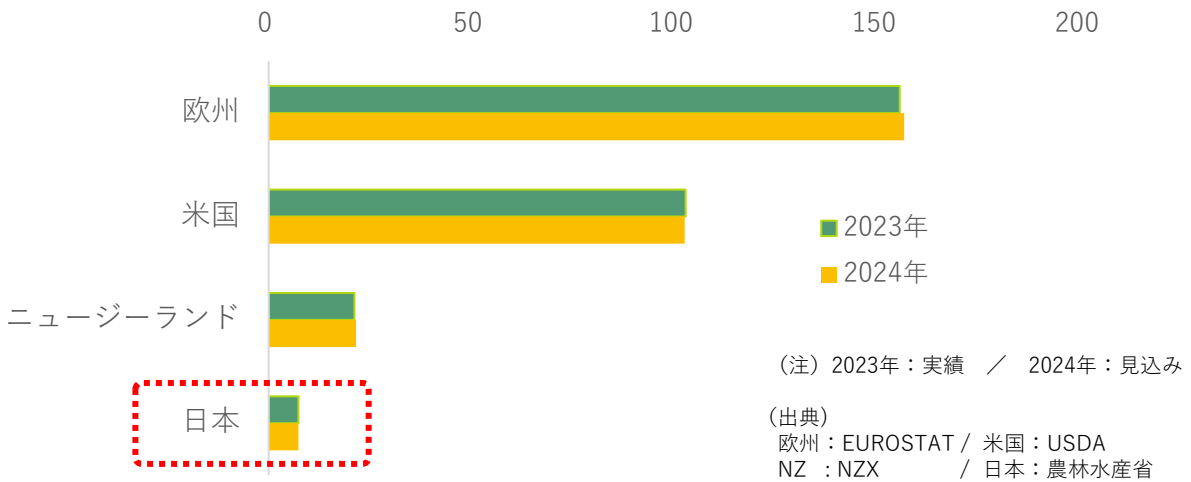
- **少ない生乳生産量**
- **高い乳価**
- **関税**

日本では

高付加価値商品の開発・大量生産が難しい

主要国の生乳生産量（2023年/2024年見込み）

（単位：百万トン）



（注）2023年：実績　／　2024年：見込み

（出典）
欧州：EUROSTAT / 米国：USDA
NZ　：NZX　　/ 日本：農林水産省

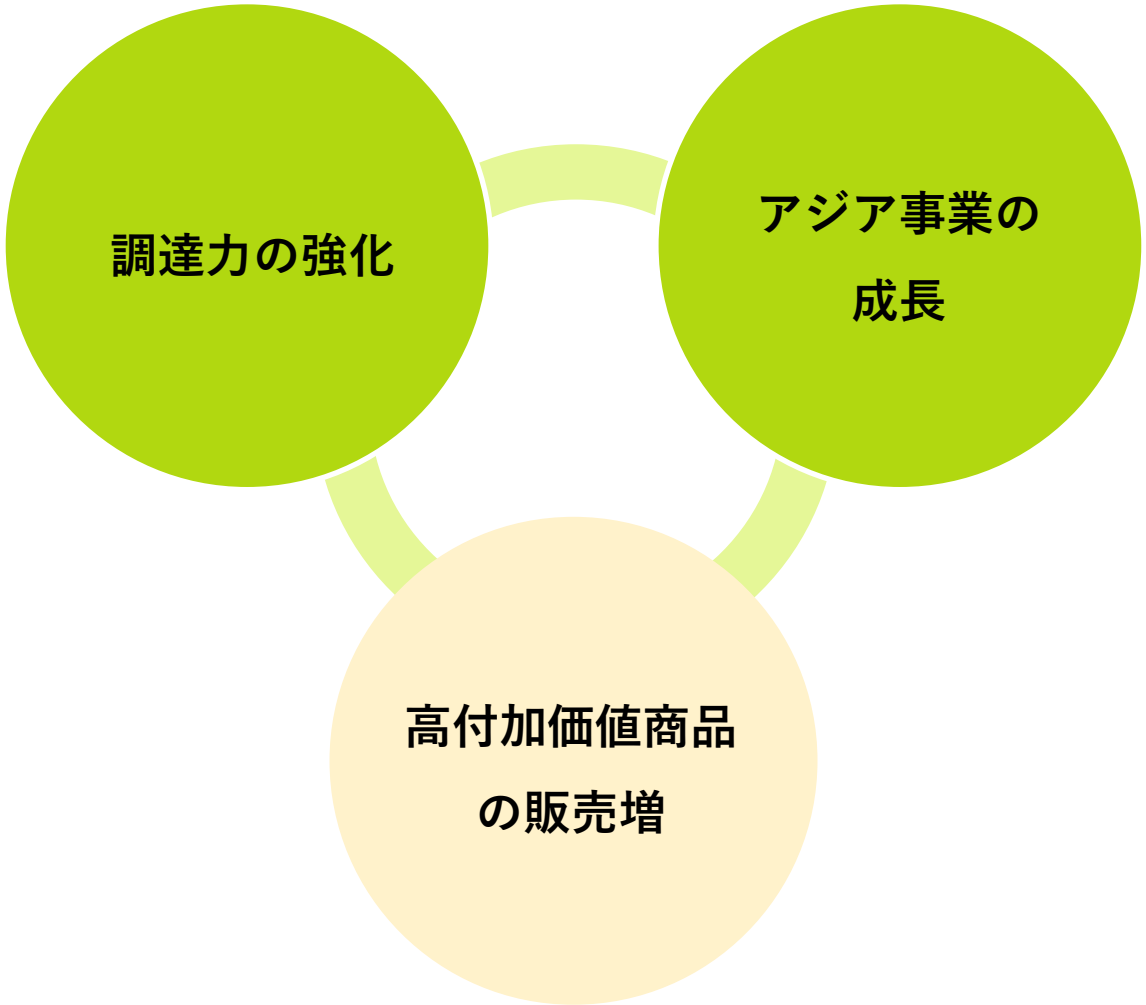
主要国の乳価（2025年6月時点）

生産国	乳価
日本	￥108.6/kg
ドイツ	￥ 85.9/kg
アイルランド	￥ 85.4/kg
米国	￥ 66.7/kg
ニュージーランド	￥ 74.8/kg

（出所）乳価はラクト・ジャパン調べ

© Lacto Japan Co., Ltd.

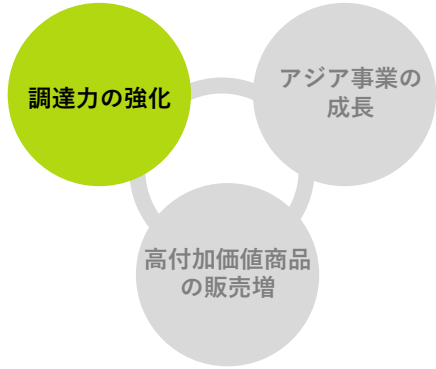
- 乳原料・チーズ部門の中長期的な成長に向けては「高付加価値商品の販売増」に加えて、「調達力の強化」、「アジア事業の成長」も重要なカギ



© Lacto Japan Co., Ltd.

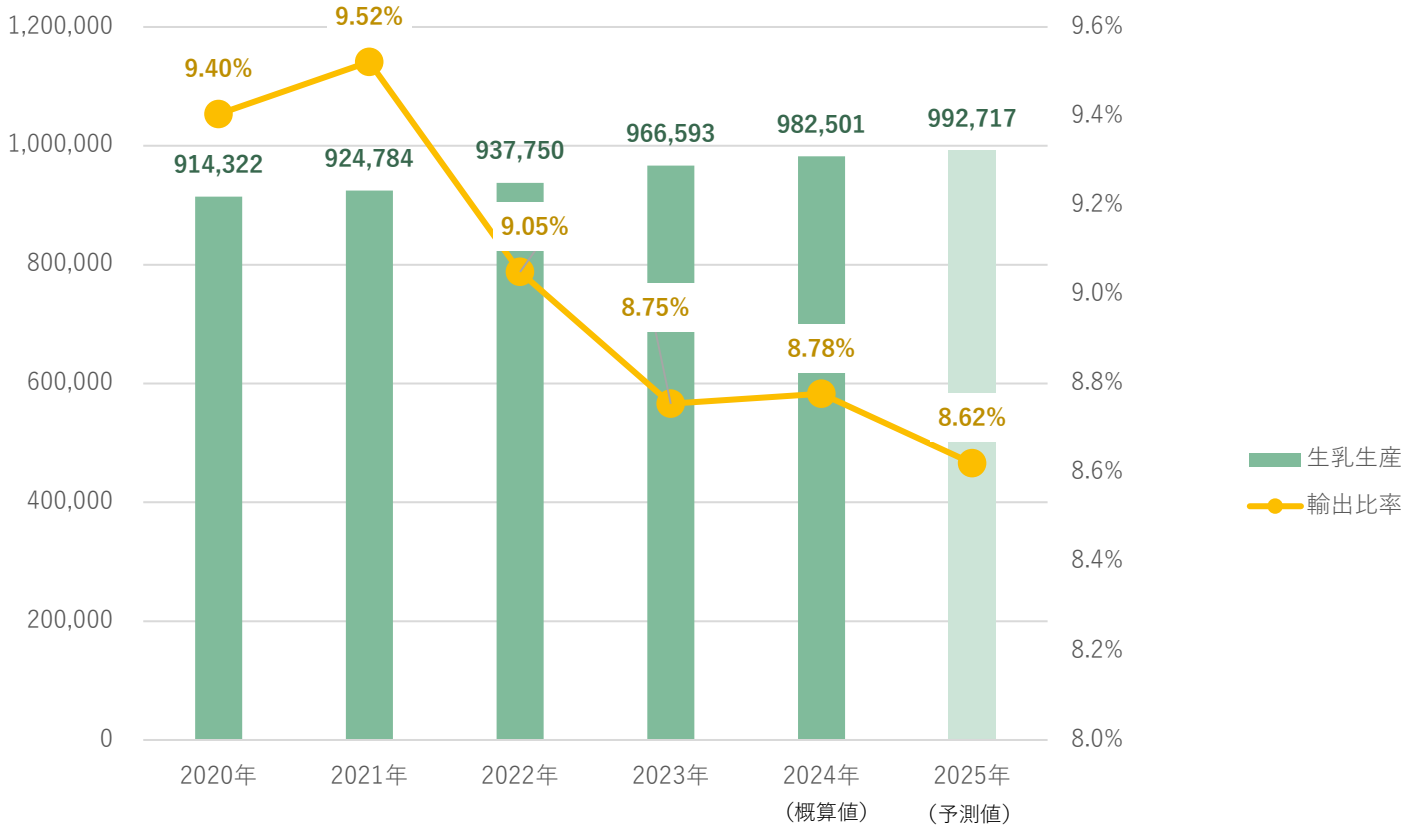
世界の乳・乳製品生産と輸出の状況

- **世界の乳・乳製品の生産量は増加が続くが、輸出比率は低下傾向**



世界の乳・乳製品生産量と輸出比率

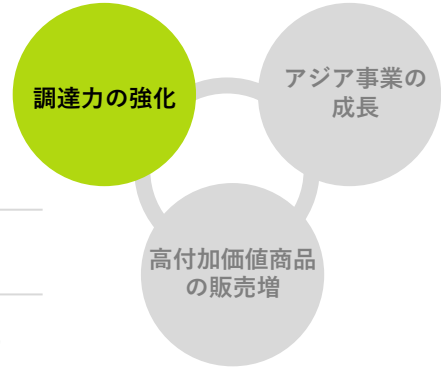
（単位：生乳換算・千トン）



（出典）「主要国乳・乳製品生産量」および「主要国乳・乳製品輸出量」（Jミルク）より

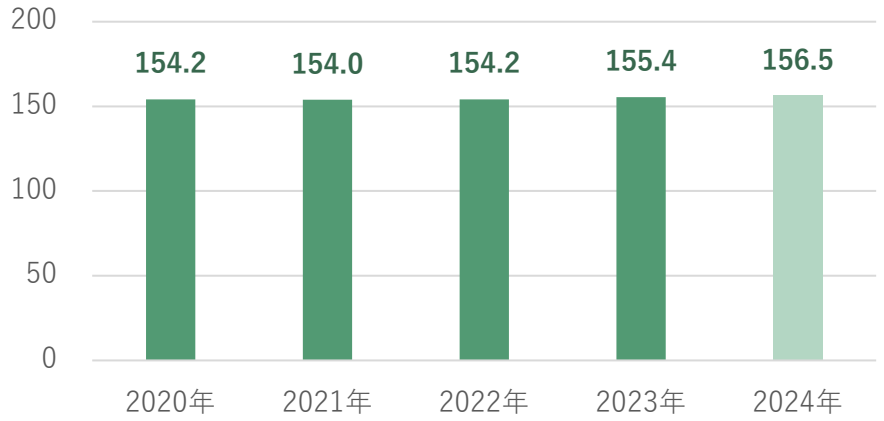
© Lacto Japan Co., Ltd.

主要輸出国の生乳生産量の伸び悩みが背景のひとつ



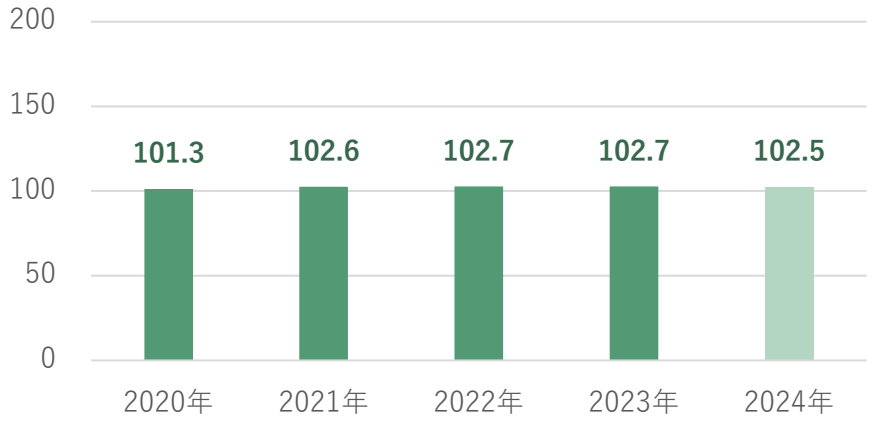
（単位：百万トン）

欧州



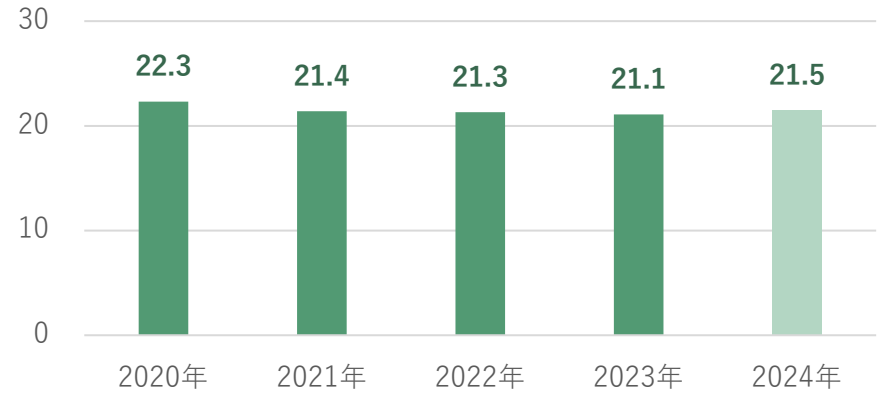
（単位：百万トン）

米国



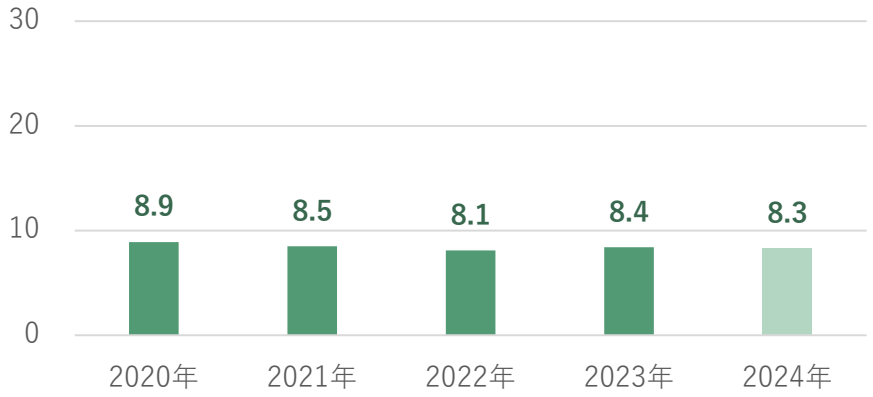
（単位：百万トン）

ニュージーランド



（単位：百万トン）

豪州



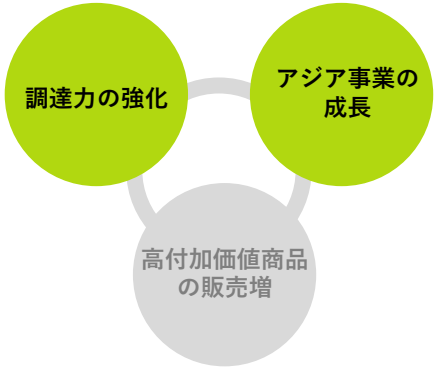
（注）2023年まで：実績／　2024年：見込み

（出典）
欧州：EUROSTAT
米国：USDA
NZ　：NZX
豪州：DAIRY AUSTRALIA

© Lacto Japan Co., Ltd.

調達力の強化とアジア事業成長の関係

- アジア・チーズ製造販売事業の拡大が、調達力強化にもつながる



調達力　販売力

- 顧客のニーズへの対応
- サプライヤーニーズへの対応
  - ✓ 販売数量
  - ✓ 継続性
  - ✓ 商品　…　特に、「チーズ」

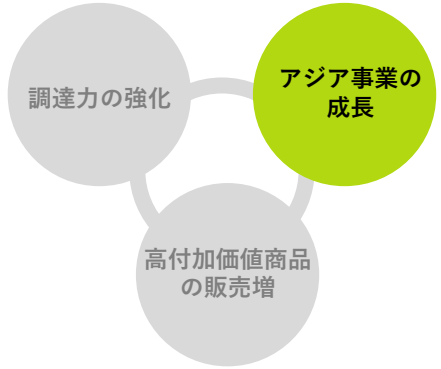
Lacto Japan

- ✓ 国内のチーズ販売網
- ✓ アジアのチーズ販売網
- ✓ 自社工場でのチーズ製造・加工

© Lacto Japan Co., Ltd.

アジア・チーズ製造能力の拡大

- **市場の成長に合わせ、チーズの製造量を増加すべく新工場を建設中**

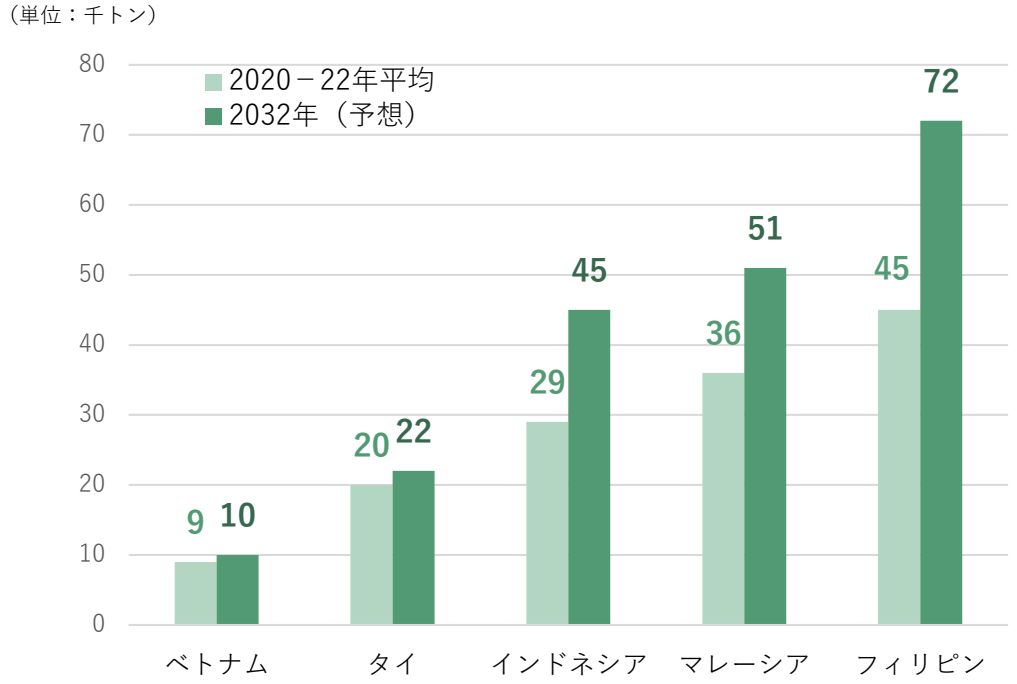


工場の概要

所　在　地	センバワン地区　セノコ
生　産　量	最大キャパシティ　1万トン
床　面　積	約6,500㎡
稼　働　開　始	2026年11月期～

新工場の所在地

アジア地域（アセアン諸国）のチーズ消費量の予測



（出典）「OECD-FAO 農業アウトルック 2023-2032」より一部抜粋

© Lacto Japan Co., Ltd.

シンガポール新工場の稼働に向けたスケジュールのイメージ

- 新工場稼働に向けて準備は順調に進捗

2026.11期　Q1	2026.11期　Q2	2026.11期　Q3	2026.11期　Q4	2027.11期
竣工			移管完了	
製造ライン設置開始 （テスト稼働）	一部製品の製造開始 （第１フェーズ） ※旧工場を並行して製造	製造規模拡大 （第２フェーズ）	製造規模拡大 （本格稼働）	
	各種認証 申請	» » »	各種認証 取得	
				旧工場のライン 稼働停止

© Lacto Japan Co., Ltd.

ご注意事項

本資料には、当社の戦略や見通しなど将来の業績に関する記述が含まれております。

これらは現時点における当社の判断に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

経営環境の変化など、さまざまな要因により変更されることがあります。

あらかじめご了承ください。

© Lacto Japan Co., Ltd.

© Lacto Japan Co., Ltd.